

# ウムチョ ムウイーザ通信

No. 34

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

## 現地 NGO「ADESOC」報告

2013年2月22日

ウムチョムウイーザ学園 チャールズ校長より



東日本大震災から2度目の卒業生を送り出すことが出来たのは、皆様の温かいご支援とご協力のおかげです。日本からの支援が途絶えて学校運営が成り立たなくなると思ったこともありましたが、力を合わせれば何事にも立ち向かうことが出来ると実感し感謝しております。

今年は英語教育を定着させるために英語圏であるケニアやウガンダから先生方を採用することにしました。

JICAの青年海外協力隊員の佐々木信恵さんのリーダーシップと新しいさまざまなアイデアを実行に移してくださったことで、ウムチョムウイーザ学園ではたくさんの成果を成し遂げることが出来ました。それによって、今年新学期には11名の増加がありました。全体で213名でスタートすることができました。特に人間教育の基礎である幼児教育部門では佐々木さんの頑張りに感謝しております。3月20日で日本に帰国してしまうのは残念でなりません。佐々木さんのさらに充実した人生をお祈りすると同時にこれからもJICAの支援をいただけることを希望したいと思います。



2012年度卒22名は全員国家試験合格で各地の中学校に進学することができました。初めての卒業生も今年高校3年生に進級し将来が楽しみになってきました。



2012年8月28日から斎藤照子さんにルワンダで生活していただいております。ウムチョムウイーザ学園にとっては、願ってもやっとな「恵み」と理解しております。彼女に寄せる尊敬の気持ちそしてやる気のあるお姿に圧倒されます。本当に一緒に生活を送れることは、私達にとって幸せなことです。

これからいろいろなチャレンジをしていかなければなりません。子ども達の未来をみつめ、みんなで力を合わせれば必ず成し遂げられると信じております。

日本とルワンダの人々の交流が息の長い交流でありますようにと心から願っています。

## ウムチョムウイーザ学園の会計報告 2012年度3学期（8月～10月）

### 学費の納入状況の報告

\*2013/1/8現在時価換算による。

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
小学校 100%				8	20	9	17	23	9	86	675,463
幼稚園 100%	11	12	12	(1人あたり=小学生 7854.22円・幼稚園生 7573.71円)						35	250,353
その他	2	5	3	3	3	5	3	5	1	30	126,894
0%	2	11	6	6	8	9	10	4	12	68	0
合計	15	28	21	17	31	23	30	32	22	219	1,052,710
予算額											1,660,890
不足金額(日本からの支援額)											608,180

〔収入〕		〔支出〕		円換算	
項目	金額	項目	金額	項目	金額
学費	1,052,710	職員への給料	1,552,170	予定外支出	71,810
入学登録料	2,244	設備維持経費	23,768	税金	49,411
バス運行収入	60,029	通信費	8,457	pmt 借金返済	135,873
水販売収入	2,755	コピー消耗品	28,556	Reste a Payer 借金返済	71,243
家畜収入(やぎ・うさぎ)	0	車の経費	97,799	未払い	28,051
多目的室貸し収入	277,927	会議と研修費	42,160		
日本からの支援	754,947	環境整備費	121,179		
個人寄付	7,714	治療費	3,436		
補助金	0	貸したお金	0		
繰越金	335,689	備品	0		
先生からの返済金	16,129	建設費	429,503		
返済予定	7,013	小計	2,307,028	小計	356,388
合計	2,517,157			合計	2,663,416

残金 △146,259

### 新潟からの給食プロジェクト支援

2011年12月より送金開始

【建設中の給食室】



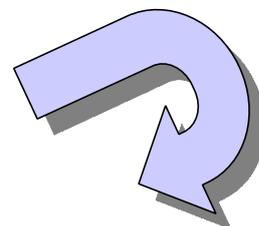
2012. 3. 10



2012. 9. 4



2012. 9. 28



### 213名で新年度が始まりました



2013. 1. 19

初めてのランチ  
が楽しみです!

# てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」と呼ばれている照子さん(当会理事斎藤照子 2012年8月28日からルワンダ在住)の近況をお知らせします。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。



皆さん、こんにちは！

今日はキニアルワンダ語について書きます。

昨年11月から、ルイズの小学校の先生をしている末の妹さんに毎週土・日各2時間の個人レッスンを受けております。

ルワンダ語は、覚える単語の数が多くて驚いております。例えば、英語や日本語では、動詞の現在・過去・未来の変化は、主語が変わってもひとつで済みますが、ルワンダ語は主語が変わると、現在・過去・未来の単語が全て変化します。

私・あなた・彼(彼女)・我々・あなた達・彼ら等の6つの主語に、それぞれ、現在・過去・未来の動詞があるので、ひとつの動詞で合計18個の単語を覚えなくてはなりません。また、ひとつの単語にアルファベットが10個以上の長い単語もあります。

たとえば、土曜日は「クワガタンダツウ」と言っ、スペルはアルファベットが13個「KUWAGATANDATU」と書きます。読み方はカタカナ読みでほぼOKですが、発音が日本語にないものもあって、先生に何度も直されます。まず、できるだけたくさんの単語を覚えること。その過程で必要な文法を学びますが、会話に必要なのは単語を知っていることが重要ということで、今まで、身の回りのもの・食べ物・食器・作業道具・体の各部分・衣服・曜日・数字などの読み書きを習いました。レッスン時には、必ず書き取り試験があって確実に覚えたかどうかを試されます。

KUWAGATANDATU

先生は日本語はわからないので英語で教えますが、その英語がわからないこともあって、日本から持参した電子辞書で英語の単語を確認しながらの勉強です。私のハチャメチャ英語に根気強く付き合ってください先生に感謝、感謝です。

ルワンダの人々は、とてもおしゃべりが大好き。会話のスピードはめっぼう速く、その速さと勢いに圧倒されます。言葉が飛び交うような会話の中に覚えた単語が聞き取れたとき、とても嬉しくなります。

こんな状況なので、先生も生徒も大変ですが、今まで一度も勉強が嫌になったことはありません。それは、勉強する目的がはっきりしているからでしょう。ハチャメチャな英語を駆使しながら、笑い声が絶えないレッスンをしております。いつの日か皆さんとおしゃべりができる日を楽しみにしながら……

それじゃ、また。日本の皆さんと共に何があっても「明るく、楽しく、おおらかに」歩んで参りましょう。お元気で……

2013年1月21日 18:44

Izuba照子



—お知らせ—

学園建設・運営から12年になりますが、授業料の払えない子ども達も払える払えないかではなく先着順で受け入れているため、先生方への給料等運営には日本からの支援に頼っているのが現状です。

学園には、自立できる道を努力していただいておりますが、趣旨を御理解いただき今後とも支援をお願いします。

当会ホームページにも掲載させていただきましたが、月一口500円からのご寄付を100人を目標に募集しています。

# 「一期一会 ルイズさんとの出会い」

ソウ  
Tembo wa Fukushima より

## ○ ルワンダ写真展を見学

2013年1月某日、コラッセふくしまアトリウムにて展示されたルワンダの現状を伝える写真やルワンダの子ども達が描いた絵等を見学させていただきました。

学生時代にケニアなど東アフリカ諸国を放浪した（当時ルワンダは内戦中で入国叶わず）私にとって、ルワンダの写真を見ていると、アフリカの圧倒的な大自然の中に頭を空っぽにして身を任せていた日々を昨日のこのように思い出しました。

会場で頂いたルワンダコーヒーの味も絶品で、その場で即コーヒー豆を購入してコーヒーの味に人一倍うるさい京都に住む妻に送ったところ「使いかけの豆を放置してルワンダコーヒーばかり飲んでいる」と絶賛していました。



## ○ ルワンダ料理&久々のスワヒリ語を楽しむ

写真展でしつこくルワンダ料理について質問する二人を、ルイズさんはルワンダ料理の食事会に招いてくれました。

シンプルな食材と塩で手間をかけて料理すると、素材の味を最大限に引き出した料理が完成しました。そのときいただいた料理はどれも大変美味しく、思わず食べ過ぎてしまいました。

東アフリカの主食であるウガリ（キャッサバ芋の粉が使われた餅に似た料理）を振舞っていただき、一人で「懐かしい」とわめいていました。（私が現地で食していたものは、出していただいたもちもちしたものと違い、もっとパサパサしていましたが・・・）

ルイズさんは私が学生時代に専攻語として学習していたスワヒリ語も話されますので、少しだけでしたがスワヒリ語に久々に触れることが出来ました。

## ◎ ルワンダへの支援を恒久的なものにするために

食事の後は、ルワンダの現状やルイズさんがルワンダで取り組んでおられる給食室付の学校建設に向けた取り組みについてお聞きし、そのためにルイズさんやスタッフの皆さんがその実現のために奔走されている現状をおぼろげながら理解できました。



この取り組みは、金や食料を単純に送るだけでなく、子どもの健康や今後の住民の生活が真に豊かになるための援助であると理解しました。

援助によって、井戸や学校等の施設が世界各地で建設されています。これはよく言われることかもしれませんが、援助をした者の手を離れて施設が町の人々で管理して適切に使用できるようにすることが何かを建設することより大切であり困難な課題であると思います。

そうなるように援助される側のレベルを引き上げることは容易なことではありませんが、ルイズさんのように両国の言葉や文化を深く理解されている方が間に立たれているというのは、とてつもなく大きなことであると感じています。



ルイズさんは二本松市内で仮設住宅を巡回され、「ひらそるカフェ」など様々なイベントを通じて被災者の方々と交流されています。

仮設住宅へは私たちもお邪魔することがよくあるのですが「ルイズさんはとても気さくで話しやすく、来られるのを楽しみにしている」と仮設住宅の方が言われるのをよくお聞きします。これはルイズさんや会員の皆さんがルワンダの支援のため取り組んでいる時と全く同じ気持ちで「ひらそるカフェ」で活動されていることが仮設の住民の方々にも伝わった結果だと思えます。

## ◎ 一期一会

私は昨年2月から京都の自宅に妻を置いて単身赴任で福島に来て仕事をしています。正直福島でルイズさんのような方との出会いがあるとは思ってもみませんでした。おかげさまで学生時代に漠然と、しかし強く描いていたアフリカ（主としてスワヒリ語圏）への思いとスワヒリ語に対する学習意欲がよみがえってきました。

では私に何ができるのか、現時点では正直思案中ですが、少なくとも同じ地球に住む一人の人間として、皆がお互いに高めあえるような世の中になるために努力を続けていきたいと思っています。



ありがとう また会いましょう  
Asante tutaonana!



# 福島県相馬市長からの手紙

（お礼とお知らせ）

皆様へお礼です

東日本大震災により親を亡くした子ども達に

大変な生活費の一部として毎月三万円、また大震災

専門学校進学に要する学費及び平均的は送り親を

援助する為、相馬市長災児遺児支援基金は

心を寄せ下さる方々善意に従い、奉割の通り

災児遺児達に給付をさせて頂き

皆様の温かい気持ちに改めて感謝申し上げます

大変な作業まで一人平均一年五万の資金が

必要と試算致しまして平成二十四年十二月三日

の後贈り四億九千万円の資金を集まりました

私どもの相馬市民一同、日本中さらには世界中の

人情の厚さに、日々、敬慕しております

しかしながら多く集まり過ぎて、残りの資金が

あまのこぼれた善意に申し込ばなすまでなく

平成二十五年三月三十日以後、本基金を閉鎖

すること致しまして、希望を将来不足する様は

ごめんなさい、将来の市長に責任を担う財源補填

してもらうようお願いしてあります

次の課題は、この子供使にどうするか、教育に

関心があり、市長が教育委員会一同、今後は

この事に全力を挙げて取り組む覚悟です

尚、この課題に対しは、相馬市教育復興基金で

基金を開設しておりますので、継続して応援

戴ける方がいらっしゃれば、何卒宜しくお願い

申し上げます

それまでの御支援、本当に有難うござい

ます。震災遺児達に届く皆様のあたたかい

お声かけ、本当に感謝申し上げます

平身低頭

（お礼とお知らせ）

平成二十五一年一月

有情 諸兄 諸姉

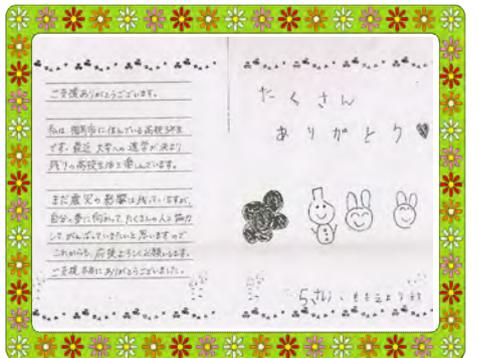
相馬市長

三浦 秀清



2011年7月のネパール竹笛コンサートでたくさんの皆様が寄せてくださった義援金の一部10万円は、相馬市で津波によって親を亡くした子ども達のために寄付させていただきました。そしてもう一部10万円はルワンダのウムチョムイーザ学園に送らせていただきました。

2011年9月11日に、「フクシマ」の現状を伝える「つどい」が行われ、ルワンダ在住のJICA職員の方々やJOCV（青年海外協力隊）のメンバーの協力のもとルワンダで参加してくださった皆さんも義援金13万円を寄せてくださいました。そちらは2011年11月11日に相馬市に届けてきました。



今回、相馬市長様より相馬市震災孤児遺児支援基金の閉鎖のお知らせと子ども達のお礼の手紙が届きました。

今までたくさんの日本の方々の支援によってルワンダの子ども達が教室で学ぶことによって夢を取り戻していただいたように、相馬の子ども達も悲しみを乗り越えて教室で学ぶことによって希望と夢を持ち続けてほしいと心から願っています。

# ルワンダDAY in 福島

感謝の心をこめて  
1年間の当会の  
活動報告

ルイズの講演&ミニコンサート&ルワンダの昔話  
7月15日(月祝)14:00~開催予定  
三春町

音楽療法士紺野由香里さんと  
ピアニスト本多裕子さんによる  
元気のでるコンサート!!  
しまちゃんとルイズの昔話!!



ルイズさんと行く  
ルワンダ8日間  
募集中

## お知らせ

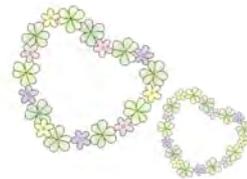
- ・ ルワンダコーヒーの販売も受付中
- ・ 総会 — 5月 場所未定  
当会発展のために多くの御意見をお寄せ下さい。

## ☆各種振替口座番号のご案内です!☆

会費振込・寄付・募金(奨学基金もよろしくお願ひします。)

郵便振替口座: 02290-0-97126

加入者名: NPO法人 ルワンダの教育を考える会



【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在23名登録

ソーラー発電...ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座: 02200-2-77634

加入者名: ルワンダ ソーラー発電P

# HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を  
随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

### —編集後記—

東日本大震災から2年が経ち、バアバ  
になり息子と娘の孫も8ヶ月と4ヶ月  
になりました。無心の赤ちゃんを抱い  
ていると、この子達に明るい未来を作  
ってあげなくてはと思う  
この頃です。 T.S



### NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 カバ'ガ'・マリルズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org

